

令和8年度「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」募集要領

1 趣 旨

障がいの有無にかかわらず、県民誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会を目指し、障がい者に対する県民の理解の促進を図るため、心の輪を広げる障害者理解促進事業要綱（平成元年4月18日内閣総理大臣決定）に基づき、県民を対象に「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を公募するものである。

2 心の輪を広げる体験作文

(1) 募集テーマ

出会い、ふれあい、心の輪 ―障がいのある人とない人との心のふれあい体験を広げよう―

(2) 応募資格

小学生以上（特別支援学校の小学部、中学部及び高等部の児童生徒を含む。）

(3) 応募方法

ア 募集は、小学生部門、中学生部門、高校生及び一般部門の4部門に区分する。

イ 原則として400字詰原稿用紙（B4又はA4判。横向き・縦書き）を用い、小学生、中学生部門は2～4枚程度、高校生、一般部門は4～6枚程度。

ウ パソコン等の電子機器による作成も可とし、用紙はイに準じるものとする。

エ 第三者が知的財産権を保有する著作物を使用しないこと。応募後に使用が発覚した場合、受付を取り消すものとする。この場合において、応募又は推薦における知的財産の問題が生じた場合は、応募者又は推薦者において処理することとする。

オ 題名、住所、氏名（ふりがな）、年齢（生年月日）、職業又は学校名（学年）、電話・FAX番号、障がいの有無・程度、その他参考となる事項を書いた応募用紙（別紙5-1）を応募作品に貼付する。

3 障害者週間のポスター

(1) 募集テーマ

障がいの有無にかかわらず誰もが能力を発揮して安全に安心して生活できる社会の実現

(2) 応募資格

小学生及び中学生（特別支援学校の小学部及び中学部の児童生徒を含む。）

(3) 応募方法

ア 募集は、小学生、中学生の2部門に区分する。

イ 造形的表現で訴えるものとし、標語その他の文字を入れないこと。

ウ 規格は、画用紙のB3判（横364mm×縦515mm）又は四つ切り（横382mm×縦542mm）を使用し、これに満たない作品は、B3判の台紙に貼付する。

なお、内閣府が「障害者週間のポスター」を作成する際のレイアウトの都合上、作品は縦位置（縦長）のみとする。彩色画材は、自由とする。

エ 第三者が知的財産権を保有する著作物を使用しないこと。応募後に使用が発覚した場合、受付を取り消すものとする。この場合において、応募又は推薦における知的財産の問題が生じた場合は、応募者又は推薦者において処理することとする。

オ 題名、作品で表現したかった内容、住所、氏名（ふりがな）、年齢（生年月日）、学校名（学年）、電話・FAX番号、障がいの有無・程度、その他参考となる事項を書いた応募用紙（別紙5-2）を応募作品に貼付する。

4 表彰

(1) 県表彰

各部門において最優秀作品（1点）、優秀作品（1点）、佳作（3点以内）を選考し、県知事賞を贈呈する（ただし、各部門において応募作品が極端に少ない場合は、該当なしとすることもある。）。最優秀作品は全国審査へ推薦するほか、障害者週間となっている12月3日から9日の前後の期間に開催予定の、県が主催する表彰式において表彰を行う。

(2) 全国表彰

全国から推薦された作品の中から、心の輪を広げる体験作文については、4区分ごとにそれぞれ最優秀賞（1編）、優秀賞（3編）及び佳作（5編以内）が選定され、障害者週間のポスターについては、2区分ごとにそれぞれ最優秀賞（1点）、優秀賞（1点）、佳作（5点以内）が選定される。

受賞作品については、作品集を作成し全国に配布するほか、内閣府ホームページ等に掲載し、全国的な啓発広報に活用する。また、「障害者週間のポスター」の最優秀作品は、内閣府が作成する広報用ポスターの原画等として使用する。

5 応募期間

令和8年7月1日（水）から令和8年9月3日（木）まで（必着）

6 主催

内閣府及び徳島県

7 その他

- (1) 応募作品は、未発表のもの1編又は1点に限る。
- (2) 各部門の入賞作品は、障がい者理解に係る啓発に活用する。
- (3) 入賞作品は、12月3日から9日の前後の期間に開催予定の、県が主催する表彰式で展示する。
- (4) 応募作品の使用・著作権は、内閣府・徳島県に帰属する。
- (5) 応募者に係る個人情報 は原則、連絡のみに利用するが、氏名、学校名又は施設名、学年又は年齢については、上記(3)における作品展示の際に利用する。

8 応募先及び問い合わせ先

社会福祉法人徳島県社会福祉事業団ノーマライゼーション促進センター

〒770-0005

徳島県徳島市南矢三町2丁目1-59 徳島県立障がい者交流プラザ 1階

電話 088-634-2000 ファクシミリ 088-634-2020